

Title	表紙・投稿規定・プレプリント・編集後記・裏表紙ほか
Author(s)	
Citation	物性研究 (1978), 30(5): 243-251
Issue Date	1978-08-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/89564
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
昭和53年 8月20日発行(毎月1回20日発行)
物 性 研 究 第30卷 第5号

CODEN:BUSKB2

vol. 30 no. 5

物性研究

1978 / 8

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不相当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないような処置をとって下さい。上ツキ、下ツキ、英字の大、花文字、ギリシャ文字、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xとX(カケル)、uとv等を赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるものを原稿に添えて下さい。図の縮尺、拡大は致しません。1頁(13×19cm²)以内に入らない図、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図、表の説明は別紙に書き、本文中に挿入位置を赤で明示して下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap - b)x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月10日で原則として次月発行誌に掲載されます。

ニュース

[北海道大学理学部]

◦ 談話会

6月22日 「相転移と磁気光学効果」

永田一清氏（東工大理）

7月6日 「金属超微粒子のX線回折法による研究」

原田仁平氏（名大工）

[東京大学理学部]

◦ 人のうごき

Martin 氏の来日。

[東京大学物性研究所]

◦ 人のうごき

6月15日 福山助教授 ソビエト連邦へ

◦ 研究会

6月5日～6月6日 “インバー問題”

6月16日～6月17日 “混合原子価をもつ物質の諸形態と新しい物性の探索”

6月26日～6月27日 “Incommensurate 構造相転移”

6月30日～7月1日 “ランダムスピンの相転移”

◦ 談話会

6月12日 “モノモレキュラー・ステップと結晶成長”

中田一郎氏（物性研）

ニュース

6月19日 「インバー合金の異常性と金属の弾性」

近 角 聡 信 氏 (物性研)

。土曜セミナー

6月 3日 「不安定性, 非線型ブラウン運動及び巨視的秩序形成の理論」

鈴 木 増 雄 氏 (東大・理)

6月10日 「アンダーソン局在状態における電子相関」

上 村 洸 氏 (東大・理)

6月24日 「有機分子性結晶中の電気伝導」

住 斉 氏 (電総研)

[大阪大学基礎工学部]

。談話会

6月23日 「金属水素とその周辺」

中 村 伝 氏 (阪大・基礎工)

。物性理論合同コロキウム

7月18日 張 紀久夫 氏

「励起子における交換相互作用, 内部構造と多成分ポラリトン」

高 岡 陽 一 氏

「MnOの光吸収スペクトルに対する Jahn-Teller 効果」

星 野 敏 春 氏

「半導体中の深い不純物の電子状態」

寺 倉 清 之 氏

「格子間不純物の電子状態」

馬 越 健 次 氏

「 Ultrasonic Attenuation in Itinerant Electron Helimagnets 」

鈴木 直 氏

「 Dynamical Correlated-Effective-Field Approximation 」

。セミナー

5月31日 「 Quasi-One-Dimensional Conductors: From the Peierls Instability to
Metallic Polymers 」 Prof. A. J. Heeger (University of Pennsylvania)

6月19日 「高圧下における水の構造と性質」

山本常信氏 (京大・理)

九州大学理学部物理学教室助手公募

1. 公募人員 助手 1名
2. 所属部門 固体理論研究室（教授 川崎恭治、 助教授 小林謙二、
助手 小貫 明 在職中）
3. 専門分野 物性理論
5. 着任時期 できるだけ早い時期
7. 提出書類 ○履歴書
○論文リスト（主要論文別刷）
○研究歴
○研究計画書
○他薦の場合は上記の他に推薦書
8. 公募〆切 1978年12月10日（日） 必着
9. 宛先 〒812 福岡市東区箱崎 九州大学理学部物理学教室
主任 河合光路
電話 092-641-1101 内線 4222（物理学科事務室）

尚、封筒に「固体理論助手応募書類在中」と表記し、書留で郵送のこと。

プレプリント案内

[東京大学・理学部・物理・久保研究室]

- (41) 1. Y. R. Lin-Lin and Kazumi Maki
Surface \vec{n} Textures and Magnetic Resonance in $^3\text{He-B}$
- (42) 1. Kazumi Maki
Solitons in Low Temperature Physics
- (43) 1. Robijn Bruinsma and Kazumi Maki
Field Induced $\hat{\ell}$ Textures and Magnetic Resonance in Superfluid $^3\text{He-A}$
- (44) 2. J. Zittartz
Harmonic Rotator, Coulomb Plasma, and Related Models. I. General Results and Renormalization Group Treatment.
- (45) 2. J. Zittartz
Harmonic Rotator, Coulomb Plasma, and Related Models. II. The Case of Dimensions $D < 2$ and $D > 2$.
- (46) 2. J. Zittartz
Harmonic Rotator, Coulomb Plasma, and Related Models. III. The Two-Dimensional Case $D = 2$
- (47) 5. Sachio Watanabe
Effect of Long-Wavelength Fluctuations on Ion Mobility in Fluid
- (48) 7. Rolf Landauer
Relative Stability in the Dissipative Steady State
- (49) 8. Itsuo Ohnari and Satoshi Takada
Central Peak and Thermal Diffusion Mode near Structural Phase Transition – Hydrodynamical Approach –
- (50) 10. S. Inawashiro, T. Togawa and R. Kurosaka
Computer Experiment on Mixtures of Two Anisotropic Magnets with Different Easy Axes
- (51) 13. Y. Akeda and F. Yonezawa
Scattering Intensity of Amorphous Silicon and Germanium in a Random Stacking Model

- (52) 13. F. Yonezawa and T. Odagaki
Analytic Properties of the Homomorphic Cluster Coherent Potential Approximation I. Site-Diagonal Randomness
- (53) 13. T. Odagaki and F. Yonezawa
Analytic Properties of the Homomorphic Cluster Coherent Potential Approximation II. Off-Diagonal Randomness
- (54) 13. T. Odagaki and F. Yonezawa
Rigorous Proof for Analyticity of the Homomorphic Cluster Coherent Potential Approximation
- (55) 13. T. Odagaki and F. Yonezawa
A Comment on Anderson's Transition in Systems with Purely Off-Diagonal Disorder
- (56) 13. J. Bosse and K. Kubo
Collective Excitations in the Classical One-component Plasma at High Densities and Intermediate Wavenumbers
- (57) 13. W. Götze, M. Lücke and A. Szprynger
The Excitation Spectrum of a He^3 Atom Moving in He II at Zero Temperature
- (58) 14. Keiichiro Nasu and Yōsuke Kayanuma
Lattice Relaxation and Time Resolved Polarization of Emission from Localized Electron with Level Crossing
- (59) 14. J. Oitmaa
Zero Temperature Properties of the $S = 1/2$ Heisenberg Antiferromagnet and XY Ferromagnet in Three Dimensions
- (60) 15. Masatsugu Suzuki and Sei-ichi Tanuma
The Static Skin Effect in Bismuth II Field Dependence of the Transverse Magnetoresistance
- (61) 15. Y. Wada and J. R. Schrieffer
Brownian Motion of a Domain Wall and Diffusion Constant
- (62) 15. H. Yoshiki
A New Approach to the Cross Section Calculations
- (63) 15. Yukihide Kamiya

- PF-ring Lattice Parameters with Wiggler
- (64) 15. M. Lücke and Annette Zippelius
The Energy Spectrum of Fully Developed Turbulence Generated by Random Stirring
- (65) 19. Hidetoshi Fukuyama
Commensurability Pinning versus Impurity Pinning of One-dimensional Charge Density Wave
- (66) 19. Hidetoshi Fukuyama
The Two-dimensional Electron Gas in a Strong Magnetic Field
- (67) 19. H. Fukuyama and P. M. Platzman and P. W. Anderson
Effect of the Peierls Phase Factor on the Charge Density Wave Instability of the Two-dimensional Electron Gas in a Strong Magnetic Field
- (68) 19. J. W. Lynn, H. H. Patterson, G. Shirane and R. G. Wheeler
Soft Rotary Mode and Structural Phase Transitions in K_2ReCl_6
- (69) 19. Yasuhiro Baba, Tatsuzo Nagai and Kyozi Kawasaki
Quantum Renormalization Group and Excitonic Phase Transition in a Strong Magnetic Field
- (70) 19. J. Eckert, W. Thomlinson and G. Shirane
Lattice Dynamics of hcp 4He at High Pressure
- (71) 21. Seiju Ami and Kazumi Maki
Fluctuation Induced Electric Conductivity in Dirty Type II Superconductors
- (72) 22. Satoru Inagaki
Electronic Properties of Ferromagnetic Pyrite Compounds $Fe_xCo_{1-x}S_2$
- (73) 22. Takehiko Oguchi and Takuma Ishikawa
Theory of a Mixture of Two Anisotropic Antiferromagnets with Different Easy Axes
- (74) 23. Hideo Yahata
Temporal Development of the Taylor Vortices in a Rotating Fluid
- (75) 23. Tatsuzo Nagai and Akira Onuki
Melting of the Two-dimensional Electron Solid
- (76) 23. Peter J. Reynolds, H. Eugene Stanley, and W. Klein
Percolation by Position-space Renormalization Group with Large Cells

プレプリント案内

- (77) 25. Myung S. Jhon, Rashmi C. Desai and John S. Dahler
A Kinetic Theory of Inhomogeneous Fluids: The Mean Field Approximation
- (78) 25. Hisao Nakanishi and H. Eugene Stanley
A Test of Scaling Near the Bond Percolation Threshold
- (79) 29. B. U. Ferderhof and R. B. Jones
Faxen Theorems for Spherically Symmetric Polymers in Solution
- (80) 29. P. Reuland, B. U. Ferderhof and R. B. Jones
Hydrodynamic Interaction of Two Spherically Symmetric Polymers

編 集 後 記

今月は編集スタッフに若干の異動がありました。まず、編集の実務を担当して下さっていた武田久子さんが、この8月夫君とともに渡英されることになり、7月一ぱいで仕事を辞められます。2年余の間、物性研究と素粒子論研究の編集に有能ぶりを発揮してこられただけに、退職されることは編集委員一同たいへん残念に思うのですが、止むを得ません。bon voyage! 武田さんの仕事は8月から谷原ふみ子さんに引き継いでもらうことになりました。大学で英語を専攻した谷原さんには、本誌が欧文誌でないことはもの足りないかも知れませんが、武田さんに劣らぬ有能ぶりを発揮されることを期待しています。

編集委員会からは、辻和彦さん(京大理物理OD)がめでたく物性研に就職が決り、辞められました。有能な実験家の目を是非編集委員会に確保したいと思い、後任には小林はな子さん(京大理・化学)をお願いしました。小林さんには、新鮮な感覚でこの雑誌の編集に新風を吹きこんでいただきたいと思っております。編集委員会のメンバーは、小林さんのほか、水崎隆雄、戸谷隆雄(理・物理)、富田博之(教養)、尾崎芳昭(理・化学)、米沢富美子、長岡洋介(基研)、いずれも京大という顔ぶれで、戸谷が編集長、長岡が発行責任者ということになっています。よろしく願いいたします。(Y.N)

物 性 研 究

第 30 卷 第 5 号
1978 年 8 月 20 日 発行

発行人 長 岡 洋 介
京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所
京都市上京区上長者町室町西入
TEL(441)1659 (431)4789

発行所 物 性 研 究 刊 行 会
京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

講読規定

個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。
なお新規講読お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
	計 4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。
(振替貯金口座 京都5312)
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
3. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
4. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
5. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 730円、1 Vol. 4,380円、年間 8,760円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求、見積、納品書各何通必要なかをお知らせ下さい。
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合、発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 生 研 究 30-5 (8月号) 目 次

○秩序相における複素オーダーパラメーターの長波長ゆらぎ・岡本幸雄・……	199
○Cowanの方程式と非線型振動子・……成田和明・……	207
○Dense Random Packing 模型による非晶質Pd _{0.8} Si _{0.2} 合金の構造研究 ……綾野哲雄・大野英雄・河村和孝・古川和男・……	216
○「教室紹介Ⅸ」—東北大学理学部物理教室—・……	227
○王子セミナー「非線型非平衡統計力学」の印象・……富田博之・……	241
○ニュース・……	243
○プレプリント案内・……	247
○編集後記・……	251

物 生 研 究 30-5 (8月号) 目 次

- 秩序相における複素オーダーパラメーターの長波長ゆらぎ・岡本幸雄・…… 199
- Cowanの方程式と非線型振動子・……成田和明・…… 207
- Dense Random Packing 模型による非晶質Pd_{0.8}Si_{0.2}合金の構造研究
……綾野哲雄・大野英雄・河村和孝・古川和男・…… 216
- 「教室紹介Ⅸ」—東北大学理学部物理教室—…… 227
- 王子セミナー「非線型非平衡統計力学」の印象・……富田博之・…… 241
- ニュース・…… 243
- プレプリント案内・…… 247
- 編集後記・…… 251